

## 内閣府本府政策評価有識者懇談会（第40回）議事要旨

1. 日 時 令和3年7月12日（木）14:00～16:30
2. 場 所 中央合同庁舎第8号館5階共用B会議室（委員はオンラインで参加）

### 3. 出席者

（委員）

座長	白石 小百合	横浜市立大学国際商学部教授
	伊藤 正次	東京都立大学法学部、大学院法学政治学研究科教授
	佐藤 徹	高崎経済大学地域政策学部、大学院地域政策研究科教授
	佐藤 主光	一橋大学経済学研究科教授
	田辺 国昭	国立社会保障・人口問題研究所所長
	南島 和久	新潟大学法学部教授
	藤田 由紀子	学習院大学法学部教授

（内閣府）

	渡邊 清	内閣府大臣官房政策立案総括審議官
	笹川 敬	内閣府大臣官房政策評価広報課長
	岡田 誠	内閣府大臣官房政策評価広報課課長補佐

### 4. 議事要旨

- 令和2年度実施施策に係る政策評価書及び令和3年度を事後評価の対象期間の初年度とする施策に係るロジックモデルに関し、各部局（地域経済活性化支援機構担当室、政策統括官（政策調整担当）（交通安全担当、青少年環境整備担当、青少年企画担当）、男女共同参画局、科学技術・イノベーション推進事務局）からヒアリングを実施。委員からの主な意見やコメントは以下のとおり。

《地域経済活性化支援機構担当室》

- ・ 中小企業庁、金融庁との役割分担はどうなっているか。

《交通安全担当》

- ・ 政策評価書において「若い世代に対する交通安全啓発活動に課題」という記載があるが、それを踏まえた指標をロジックモデルに設定すべきではないか。

《青少年環境整備担当》

- ・ フィルタリングだけでなく、例えば「トラブル件数」のような指標を設定すると、多角的に評価できるようになるのではないか。

《青少年企画担当》

- 政策評価書において過去の取組を踏まえた課題について記載していただいているが、要点が分かりにくい。

《男女共同参画局》

- 施策目標の測定指標よりも中目標の測定指標の方が高次の指標であるように見えるが、どのように整理しているのか。

《科学技術・イノベーション推進事務局》

- 政策評価における研究開発評価の活用について、整理が必要だと考える。

等

- その他の令和2年度実施施策に係る政策評価書（国際広報の強化、対日直接投資の推進、内外の経済動向の分析）について、事務局から説明。委員からの意見やコメントはなし。

<文責：内閣府大臣官房政策評価広報課>